

## 2021 年度 第 6 回定例研究会 (Webinar) 開催のご案内

システム監査学会 2021 年度第 6 回定例研究会を下記要領にて開催いたしますので、参加ご希望の方は 2021 年 12 月 24 日 (金) までにお申し込みください。受講してアンケートにお答えいただいた方には、受講証明メールをお送りします。継続教育にもご利用ください。

### 記

1. 日時 : 2021 年 12 月 27 日 (月) 19:00~20:40 (開場 18:50~)  
(※ 研究会終了後 2 週間程度のオンデマンド配信を予定しています)
2. 開催形式 : Webinar (Zoom を使用します)  
※ 参加には、インターネット接続可能で、Zoom アプリが対応している、パソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要です。事前に <https://zoom.us/test> に接続し、お使いになる通信サービスや利用機器、ブラウザ等の環境をご確認の上お申し込みください。
3. 講師 : 鷲崎 弘宜氏 (早稲田大学 研究推進部 副部長・教授, 国立情報学研究所 客員教授,  
(株)システム情報 社外取締役 (監査等委員), (株)エクスマーシオン 社外取締役,  
IEEE-CS 副会長 (教育), ISO/IEC/JTC1 SC7/WG20 議長,  
日科技連・ソフトウェア品質 (SQIP) 委員会 副委員長, ソフトウェア品質知識体系ガイド (第 3 版) 監修)
4. テーマ : 「SQUBOK ガイド V3 概説 ~IoT・AI・DX 時代のソフトウェア品質とシステム監査~」

価値創出が求められる DX 時代においてソフトウェアシステムの価値に直結するソフトウェア品質の重要性がますます増している。ソフトウェア品質知識体系ガイド (SQUBOK ガイド) は、品質にまつわる経験や知見を体系化し、その体系へと容易にアクセス可能とするガイドであり、2007 年の第 1 版以降、着実に成長を重ねている。昨年に出版された SQUBOK ガイド第 3 版では、国際規格の改訂の反映や使用性、セキュリティ、セーフティに代表される専門性の高い品質の知識拡充を通じて重要な知識体系を再整理している。さらに、不確実な時代に不可欠なデータ駆動および価値共創におけるソフトウェアの品質の考え方を取り込んでいる。具体的には、IoT からビッグデータ・クラウド、AI に至るデータ駆動を支える技術における品質の考え方と、それを通じた高スピードな仮説検証および顧客との価値共創のためのアジャイル開発・DevOps およびオープンソース活用における品質の考え方をまとめている。本講演では、SQUBOK におけるこうした品質の考え方と技術の概要を解説し、システム監査との関係について考察する。

5. 定員 : 250 名
6. 参加費 : システム監査学会会員 無料  
日本システム監査人協会会員 1,000 円  
非会員 2,000 円  
(注) システム監査学会会員および、日本システム監査人協会会員の方は、割引コードを受付時に入力することで、該当金額が表示されます。支払い後の差額返金はいりませんのでご注意ください。またお申し込み時に会員番号の入力が必要になります。Peatix への事前登録 (無料) が必要となります。
7. お申込 : Peatix からお申し込み、お支払いください。→ <https://jssa-20211227.peatix.com>  
▼ Peatix でのお支払いに伴って発行されるクレジットカードの利用明細書等が正式な領収書になります。注文内容の詳細は、Peatix から領収データが入手できます。システム監査学会からの領収証の発行はできません。  
▼ Peatix でのお申込み・お支払いの詳細は、お申し込みページでご確認ください。  
▼ 申込時に記載していただいた個人情報について、本学会ではイベントの運営目的外では利用いたしません。  
▼ 参加方法の詳細等はお申込み後に Peatix または Zoom からのメールでご連絡いたします。  
▼ お問い合わせは、Peatix のお申し込みページまたは、チケット右側に表示されている、「主催者へ連絡」からお願いします。

以上